

2019年3月期 第2四半期 業績概要

窪田 顕文

アンリツ株式会社
取締役
常務執行役員 CFO

2018年11月1日



東証第1部 : 6754
<https://www.anritsu.com>

Anritsu
envision : ensure

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

I. 事業概要

II. 2019年3月期第2四半期 連結決算概要

III. 2019年3月期 通期業績予想（連結）

IV. 5G最新動向と当社のソリューション

I. 事業概要

T&M事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ▶ モバイル市場 : 5G, LTE
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



PQA事業

食の安全・安心

- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機



その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2018年3月期 実績 (連結) : 860億円

T&M 63%			PQA 26%	その他 11%
モバイル 45%	ネットワーク・インフラ 32%	エレクトロニクス 23%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 20%	アジア、パシフィック 38%	米州 23%	EMEA 19%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

▶ 前年同期比増収、増益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	427	479	52	12%
売上高	407	443	36	9%
営業利益	6	35	29	507%
税引前利益	5	37	32	669%
当期利益	2	31	29	-
当期包括利益	12	44	32	264%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

➡ T&M：5G初期開発投資で増収、増益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	264	292	28	11%
	営業利益	△4	25	29	-
	(調整後営業利益)	(△2)*	(25)	27	-
PQA	売上高	107	114	7	7%
	営業利益	9	9	0	△7%
その他	売上高	36	37	1	4%
	営業利益	4	4	0	18%
調整額	営業利益	△3	△3	0	-
合計	売上高	407	443	36	9%
	営業利益	6	35	29	507%

(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

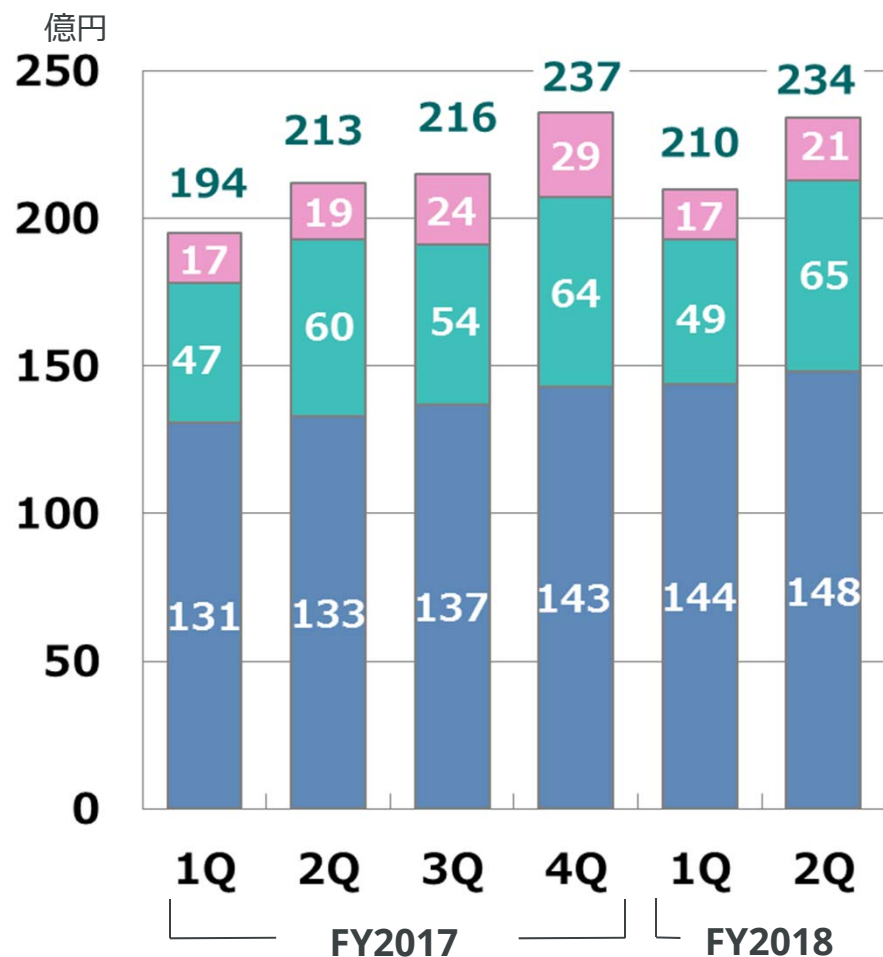
(注3) 第1四半期連結会計期間から本社管理費等の各事業セグメントへの配分方法を変更しており、前連結会計年度の数値は組替再表示しています。

*T&M調整後営業利益は、米国でのリストラ費用2億円を控除した数値です。

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

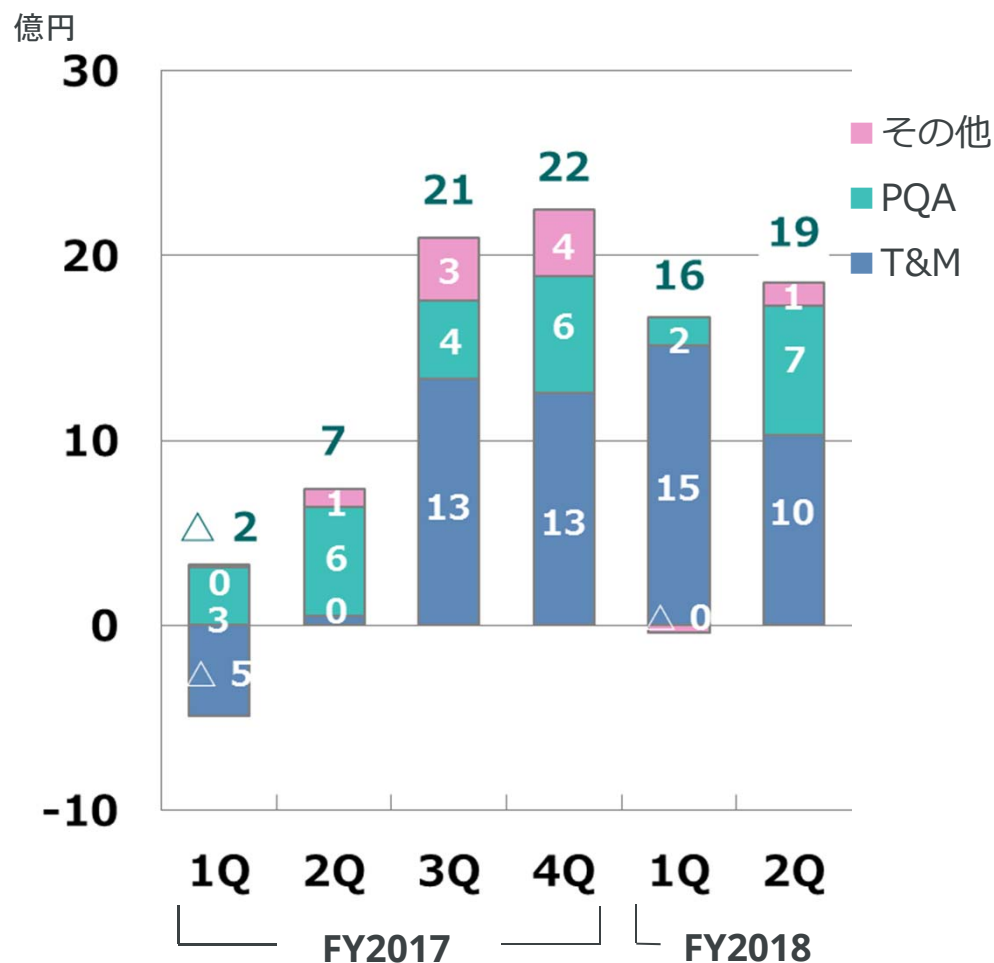
➡ 2Q(7-9月)営業利益率：連結8%, T&M7%, PQA11%



売上高



(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) 営業利益の「その他」には「調整額」が含まれています。



営業利益

Ⅱ - 4. 事業別営業概況

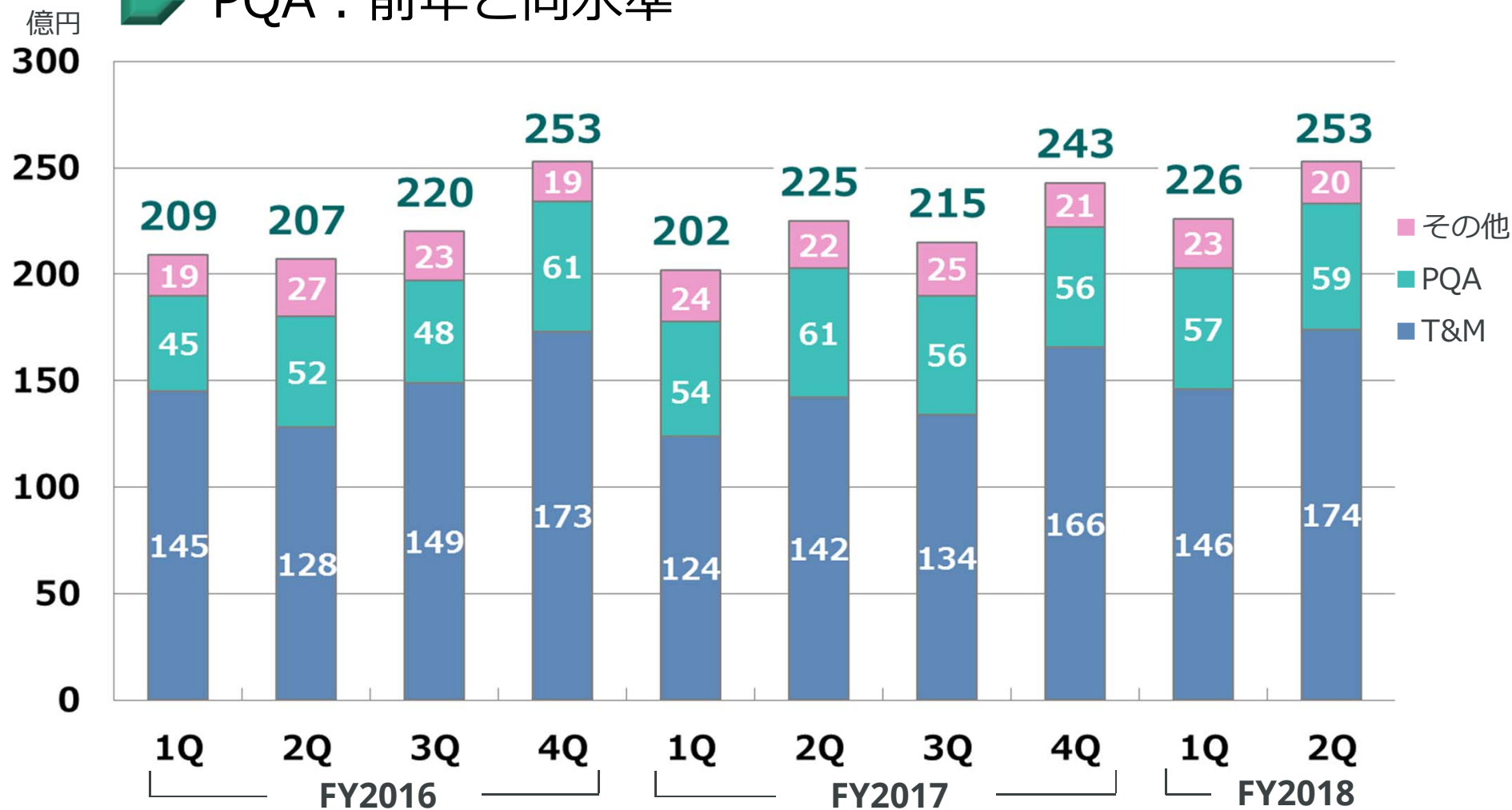
セグメント		2019年3月期第2四半期（4月-9月）の状況
 T&M : 5G商用化のロードマップが具体化		
モバイル	LTE-Advanced	LTE-Advanced Proへの投資に収斂方向
	5G, IoT, Connectivity	5Gパイロット端末の開発需要が具体化
Network Infrastructure		米国の内需関連投資は堅調
アジア	中国5G（Sub 6 GHz）商用化実験の動き	
米州	LTE-A Proに加え5G初期開発需要立ち上がる	
 PQA : 国内・海外とも食品市場の品質保証、自動化、省力化の投資が堅調に継続		

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 5. 受注高推移

➡ T&M：前年同期比23%増

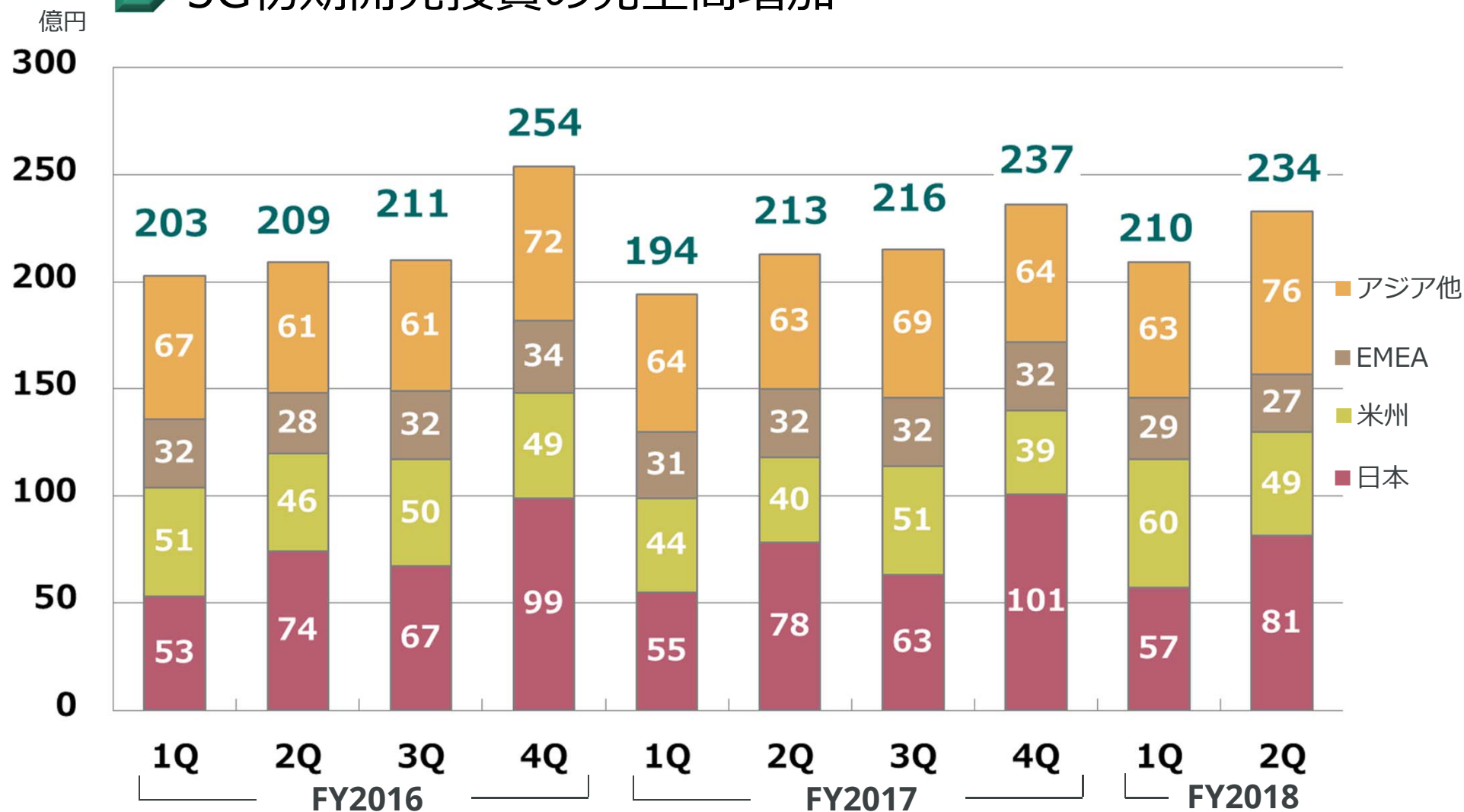
➡ PQA：前年と同水準



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 6. 地域別売上高推移

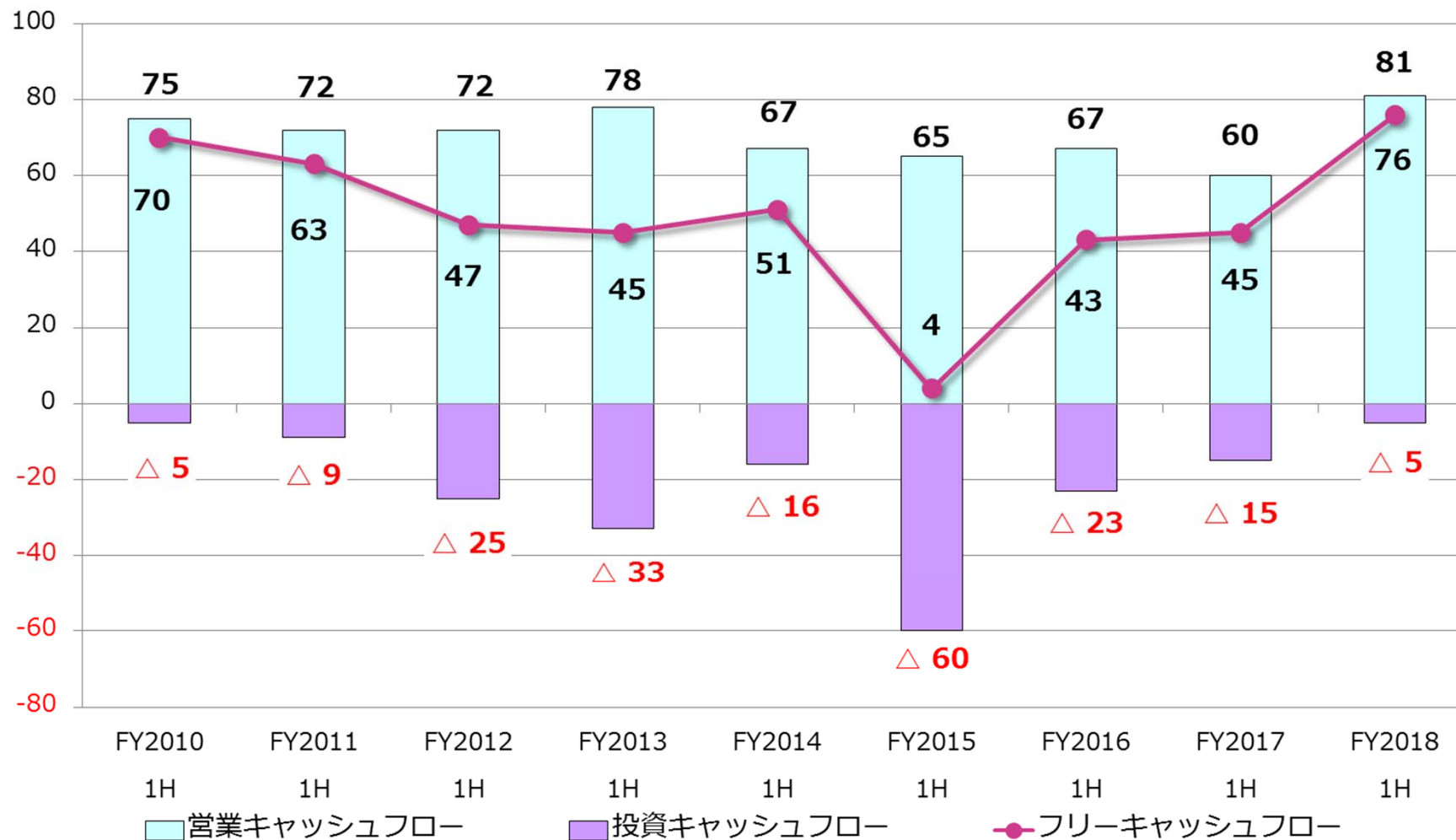
➡ 5G初期開発投資の売上高増加



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ-7. キャッシュフロー (1/2)

(単位：億円)



(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) FY2010は日本基準、FY2011以降は国際会計基準 (IFRS)

Ⅱ-7. キャッシュフロー (2/2)

➡ 営業CFマージン率18.3%

FY2018 2Q (累計)

- ①営業CF： 81億円
- ②投資CF： △5億円
- ③財務CF： 1億円

フリーキャッシュフロー

(①+②)： 76億円

現金同等物期末残高

436億円

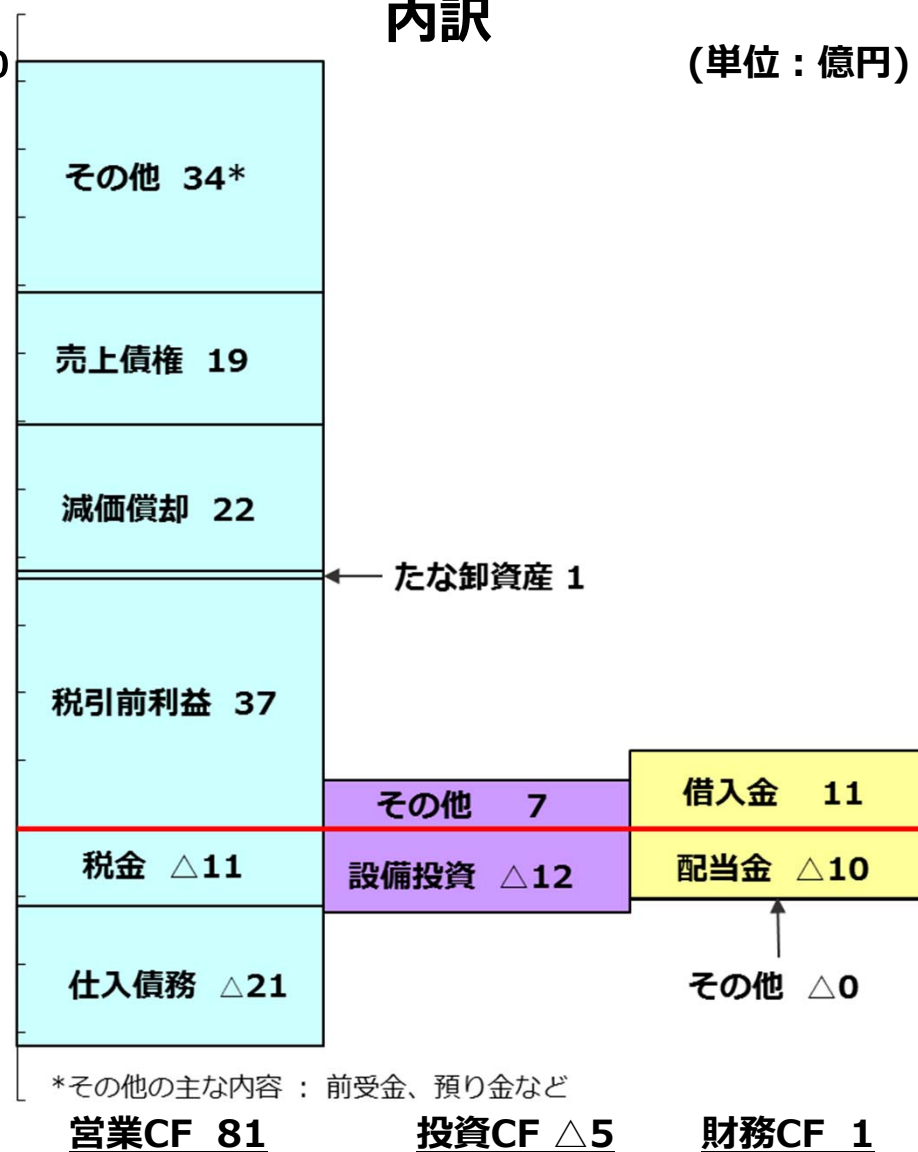
有利子負債高

171億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

内訳

(単位：億円)



Ⅲ. 2019年3月期 通期業績予想（連結）

▶ T&M事業の利益予想を上方修正

（単位：億円）

国際会計基準(IFRS)		2018/3期	2019/3期			
		前期実績	通期予想		前期比	
			4/26発表	今回	増減額	増減率(%)
売上高		860	920	920	60	7%
営業利益		49	66	70	21	43%
税引前利益		46	66	70	24	52%
当期利益		29	50	55	26	90%
T&M	売上高	544	600	600	56	10%
	営業利益	21	35	50	29	133%
PQA	売上高	225	235	235	10	4%
	営業利益	20	20	20	0	2%
その他	売上高	90	85	85	△ 5	△ 5%
	営業利益	15	11	7	△ 8	△ 52%
調整額	営業利益	△ 7	11	△ 7	0	-

（注1）値はそれぞれの欄で四捨五入

（注2）4/26発表予想の「その他」には、セグメント情報における「その他」と「調整額」を合わせて表示しております。

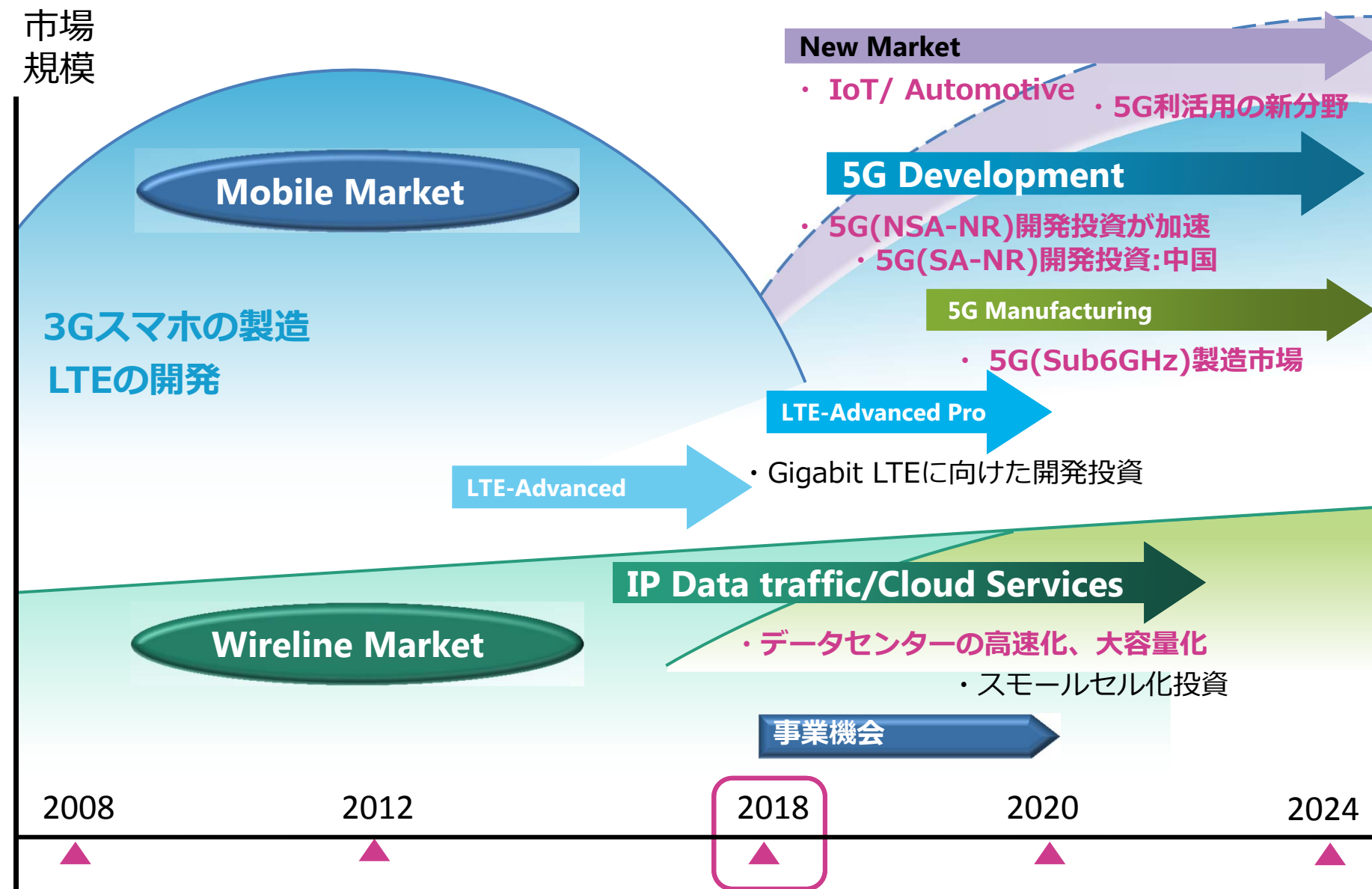
（参考）FY17 為替レート : 1米ドル111円、1ユーロ=130円
 FY18 期初想定為替レート : 1米ドル105円、1ユーロ=125円
 FY18 下期想定為替レート : 1米ドル105円、1ユーロ=125円

IV. 5G最新動向と 当社のソリューション

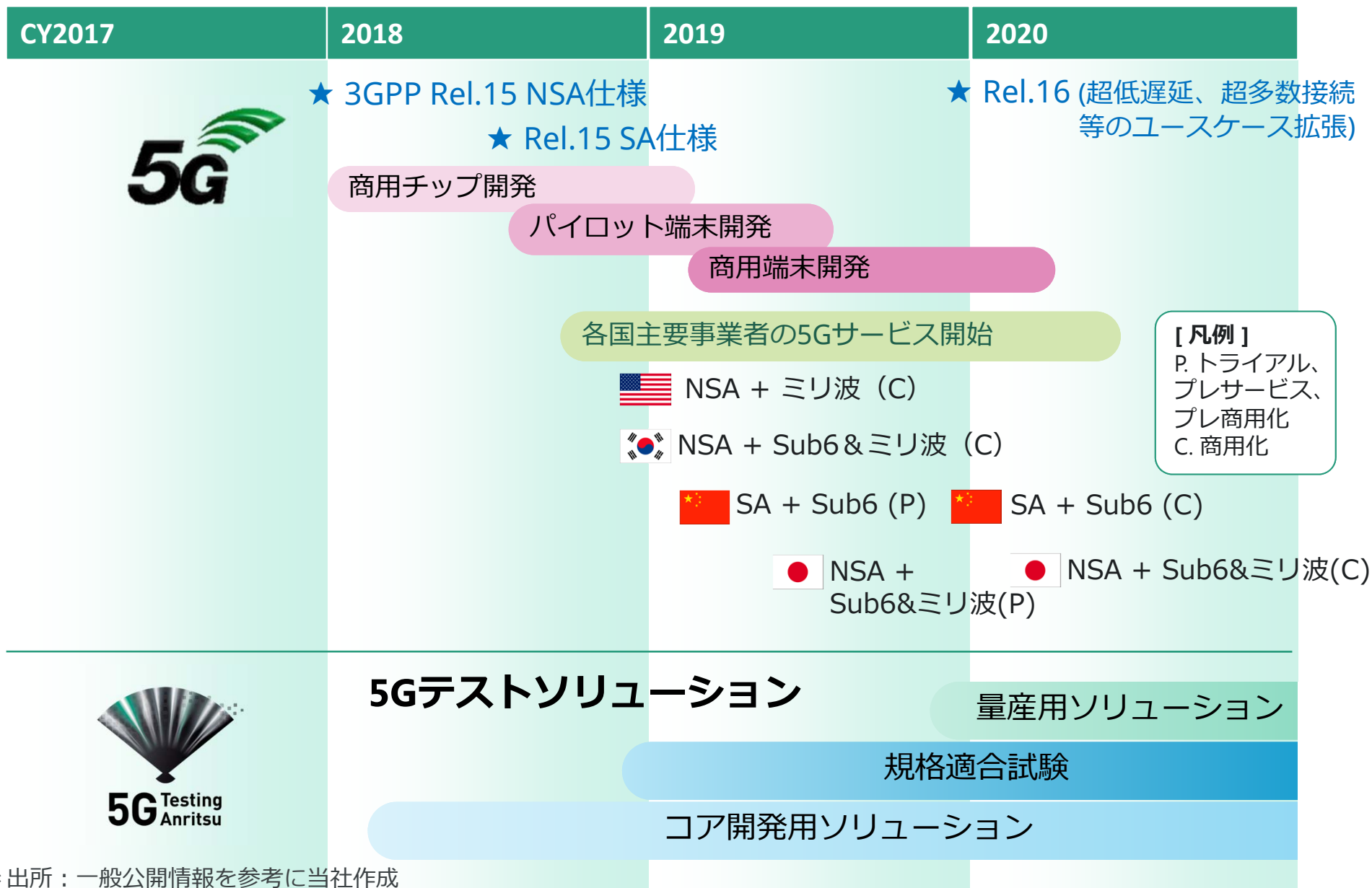
アンリツ株式会社
代表取締役 社長
計測事業グループプレジデント

濱田 宏一

IV- 1. 計測市場トレンドと事業機会

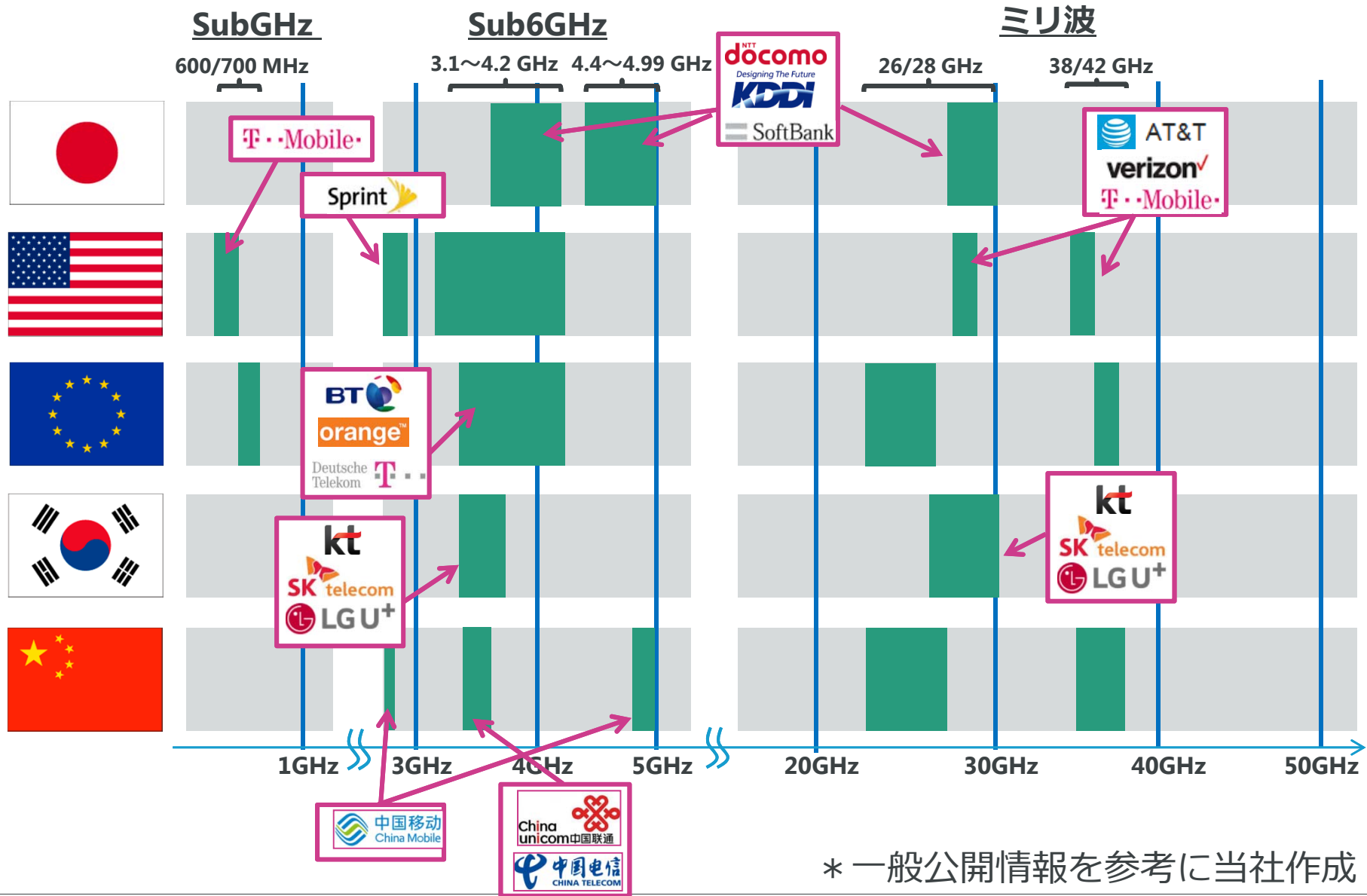


IV- 2. 5Gサービスのロードマップ



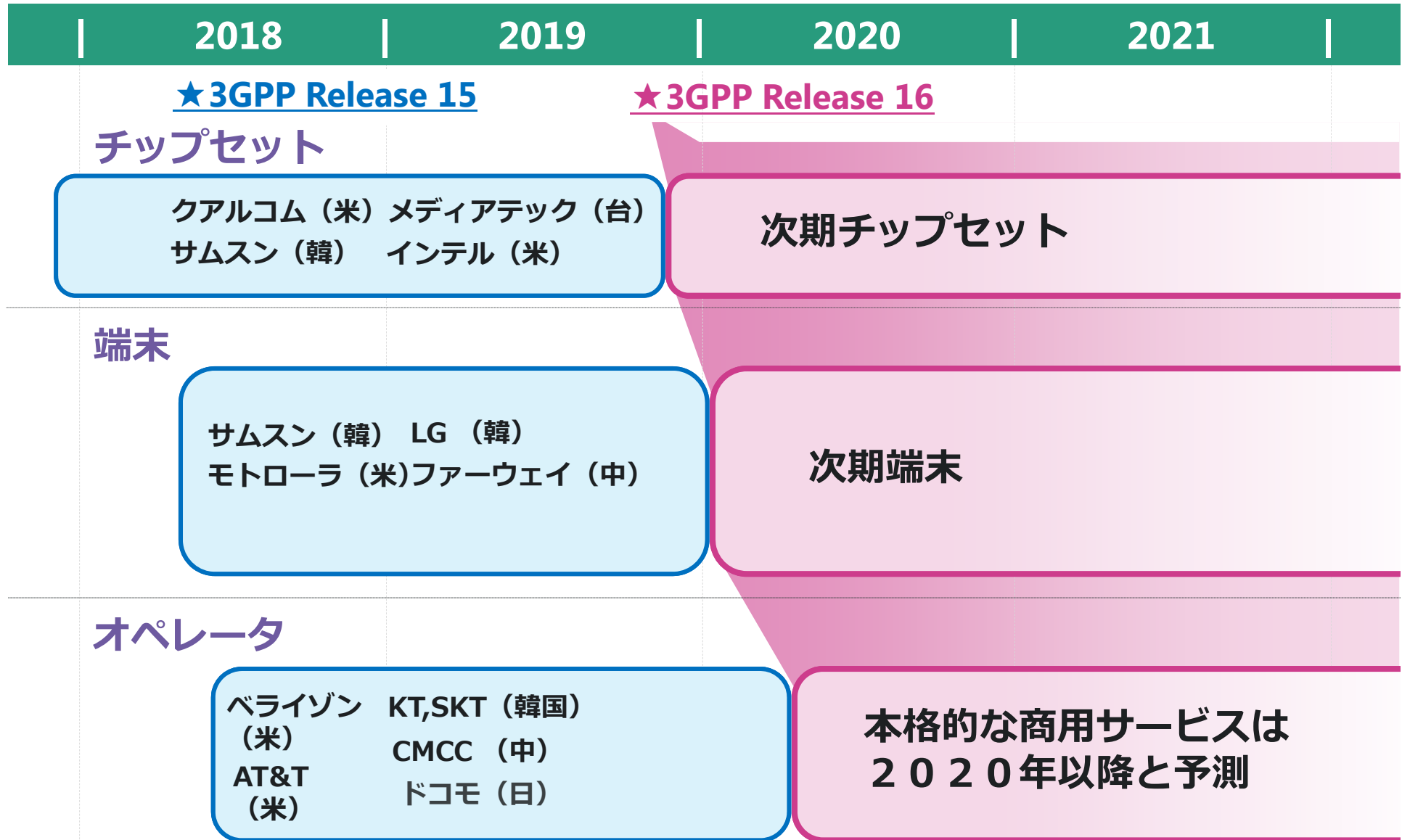
* 出所：一般公開情報を参考に当社作成

IV- 3. 各国の5G向け周波数



* 一般公開情報を参考に当社作成

IV- 4 . 5G主要ベンダーおよびオペレータの現状と見通し

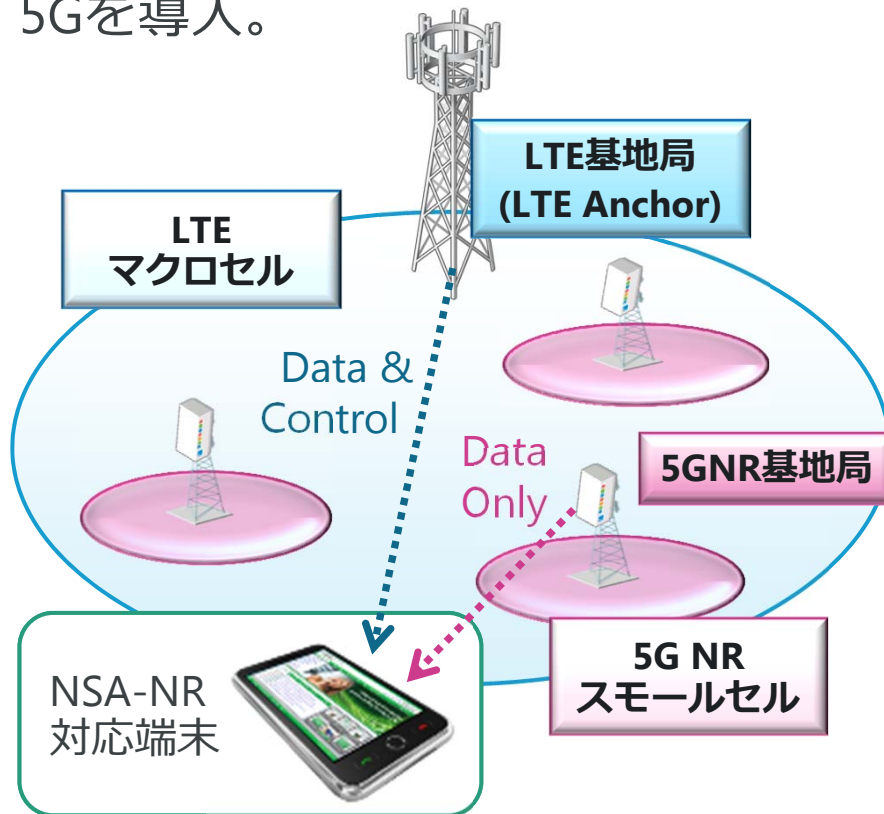


* 出所：総務省発行「電波政策に関する意見交換会（第58回）資料（2018.9.21）」他
 一般公開情報を参考に当社作成

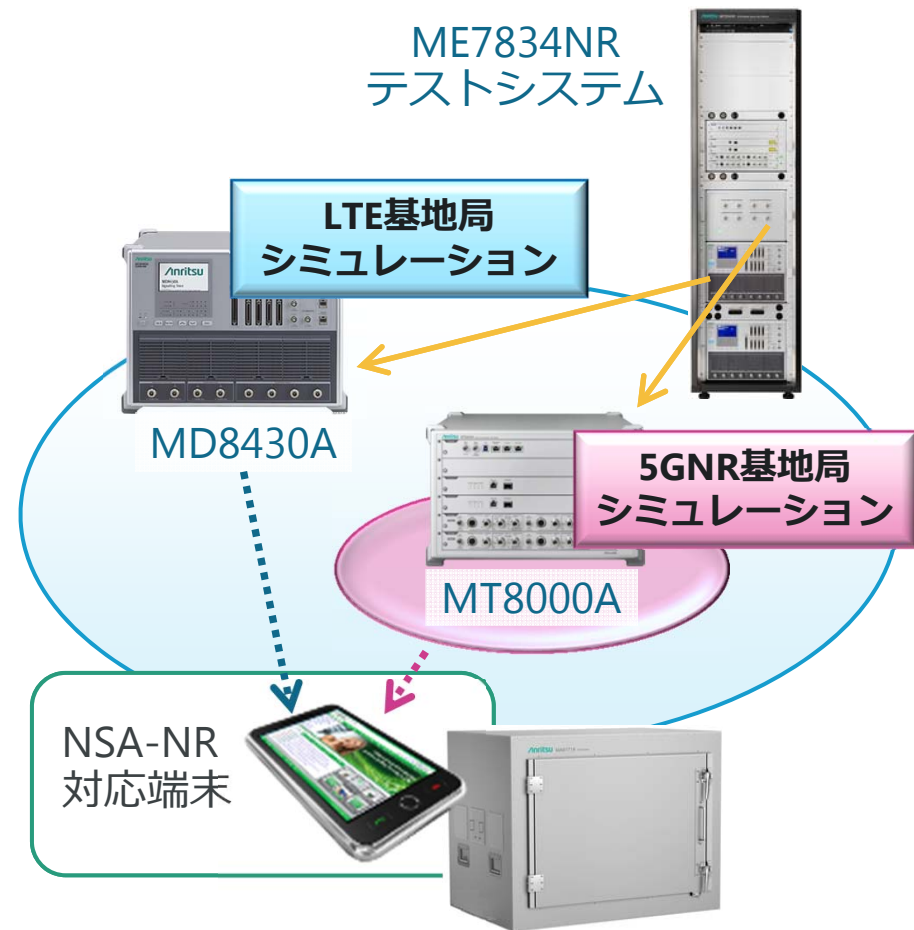
IV- 5. 5G NSA-NR端末開発のためのテストソリューション

NSA-NR ネットワーク構成

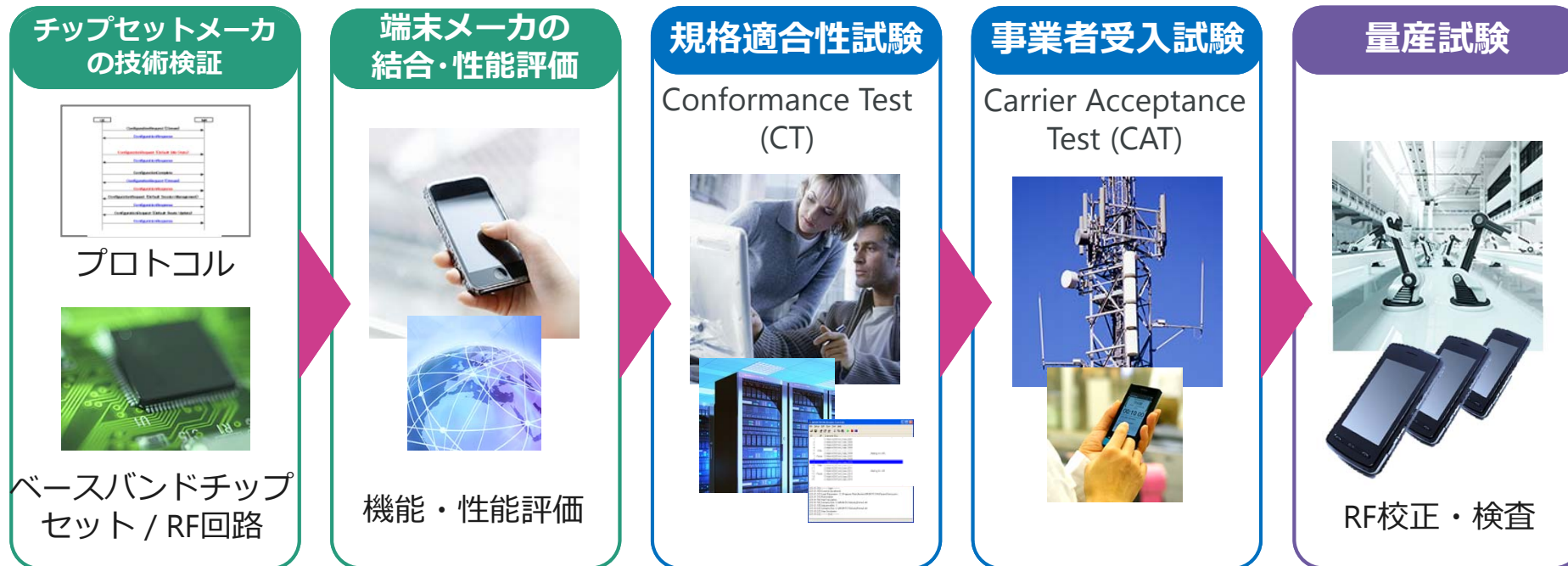
LTEのコアネットワークを生かして5Gを導入。



NSA-NR テスト環境



IV- 6 . 5G端末の開発・製造プロセスとテストソリューション



MT8000A
 ラジオコミュニケーション
 テストステーション



ME7834NR
 5G NRモバイルデバイステスト
 プラットフォーム



MT8870A
 ユニバーサルワイヤレス
 テストセット



Anritsu
envision : ensure

